

‘河内晩柑’の後期落果軽減に対するオーキシンの効果

着色始期のマデックEW散布後のターム水溶剤散布によりマデックEWのみ散布する場合に比べ、後期落果の発生は軽減する。

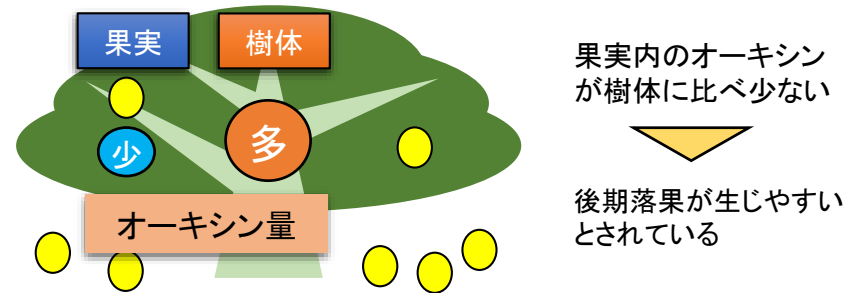
試験区

供試樹：7年生河内晩柑
 供試剤、希釈倍率、および散布日：
 マデックEW、2000倍、2019/11/10
 ターム水溶剤、1000倍、2019/12/5
 散布方法：樹別散布
 処理区：11月マデック+12月ターム
 11月マデック
 無処理



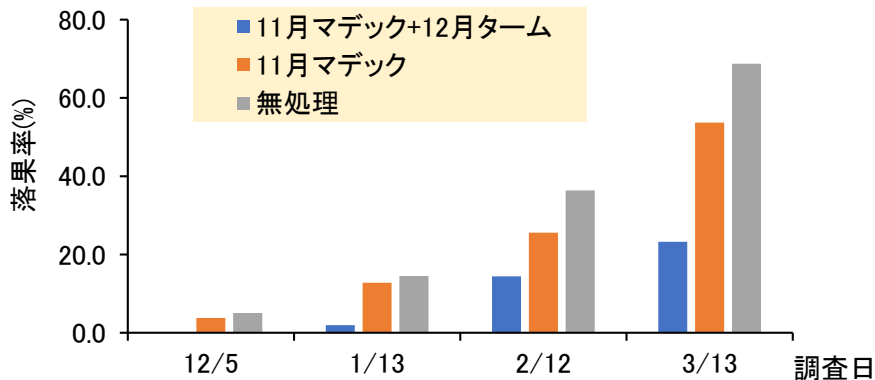
河内晩柑では収穫前の後期落果が問題となる

後期落果が生じる機構



マデックEWやターム水溶剤の散布で果実内のオーキシン濃度を高めることが有効と考えられる

後期落果発生率



ターム水溶剤も散布した区では、マデックEWのみ散布した区に比べ後期落果の発生が軽減する

果実品質

処理区	果実重 (g)	糖度 (° Brix)	クエン酸 (g/100ml)
11月マデック+12月ターム	325	13.0	2.04
11月マデック	326	13.0	1.98
無処理	298	13.2	2.19
有意性	ns	ns	ns

注) Tukey検定により、nsは有意差なし(n=3~4)

調査日：令和2年3月17日

マデックEWとターム水溶剤の散布により、糖度・酸含量に明らかな差は見られない